

第21回 鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)結果概要

「第21回鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)」を実施し、結果をとりまとめましたのでお知らせします。

- 2020年7～9月期の業況は「改善」。
- 業況D.I.は、調査開始(2015年7～9月期)以来、2番目に低い水準。前期よりは改善したものの、新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況が続く。
- 2020年10～12月期の業況は「やや改善」する見通し。

業況D.I.

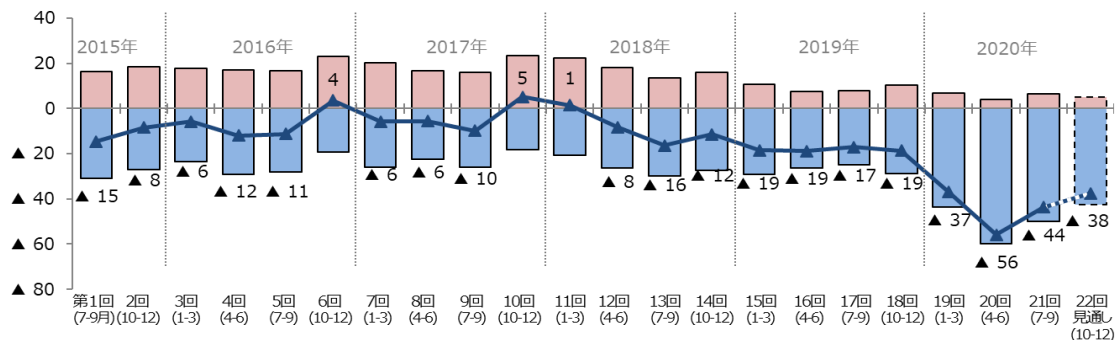
○今期は▲44(良い<悪い)と、前期(▲56)より改善。

- 全体としては10期連続のマイナスで、調査開始(2015年7～9月期)以来、2番目に低い水準となった。
- 前年同期(▲17)と比較すると、大幅に悪化。
- 業種別では、不動産業(前期0→今期▲14)を除く全ての業種で改善した。緊急事態宣言解除による経済活動の再開で、卸売・小売業(前期▲67→今期▲25)が大幅に改善し、宿泊・飲食業(前期▲100→今期▲93)、運輸業(前期▲60→今期▲56)もD.I.は低水準ながらやや改善した。

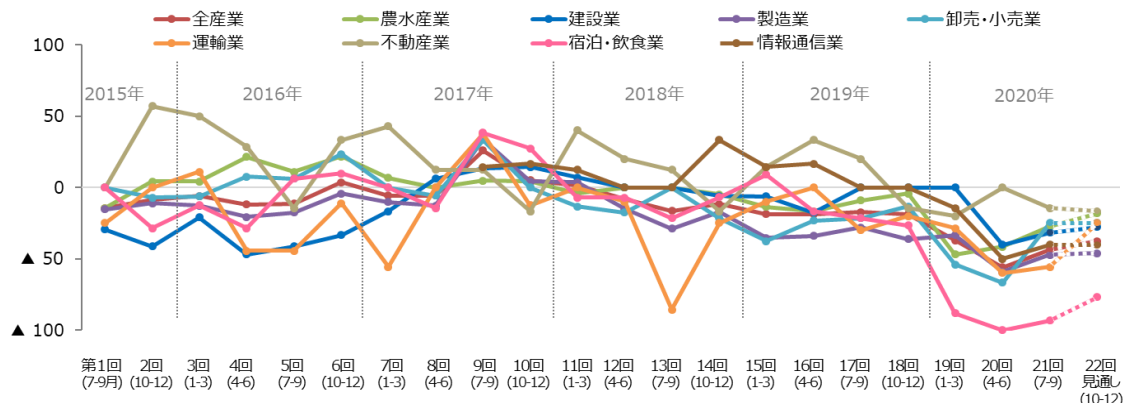
○来期は▲38(良い<悪い)と、やや改善する見通し。

- 業種別では、運輸業(今期▲56→来期▲25)、宿泊・飲食業(今期▲93→来期▲77)、農水産業(今期▲27→来期▲18)、建設業(今期▲32→来期▲28)が改善する見通しであるが、依然としてD.I.は低水準となっており、先行き不透明な状況が続く。

業況D.I.の推移



業種別業況D.I.



※ 上記は、業況D.I.値の概況です。詳細は「鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)結果」を御覧ください。

概 況

業 況 D.I.	<p>○今期は▲44(良い<悪い)と、前期(▲56)より改善。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 全体としては 10 期連続のマイナスで、調査開始(2015 年 7~9 月期)以来、2 番目に低い水準となった。 ➢ 前年同期(▲17)と比較すると、大幅に悪化。 ➢ 業種別では、不動産業(前期 0→今期▲14)を除く全ての業種で改善した。緊急事態宣言解除による経済活動の再開で、卸売・小売業(前期▲67→今期▲25)が大幅に改善し、宿泊・飲食業(前期▲100→今期▲93)、運輸業(前期▲60→今期▲56)も D.I.は低水準ながらやや改善した。 <p>○来期は▲38(良い<悪い)と、<u>やや改善</u>する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、運輸業(今期▲56→来期▲25)、宿泊・飲食業(今期▲93→来期▲77)、農水産業(今期▲27→来期▲18)、建設業(今期▲32→来期▲28)が改善する見通しであるが、依然として D.I.は低水準となっており、先行き不透明な状況が続く。
生産高 D.I.	<p>○今期は▲40(増加<減少)と、前期(▲57)より改善した。</p>
売上・完工高 D.I.	<p>○今期は▲49(増加<減少)と、前期(▲58)より<u>やや改善</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、緊急事態宣言解除による経済活動の再開で、情報通信業(前期▲50→今期 0)、製造業(前期▲66→今期▲46)、農水産業(前期▲48→今期▲35)、卸売・小売業(前期▲50→今期▲42)が改善した。 <p>○来期は▲38(増加<減少)と、改善する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、建設業など 5 業種が改善する一方で、不動産業、情報通信業が大幅に下落、悪化し、農水産業が横ばいとなる見通し。
製品・商品在庫 D.I.	<p>○今期の在庫の過不足感は「過剰」が 9%、「適正」が 76%、「不足」が 16%、D.I.は▲7(過剰<不足)となり、前期(▲9)と横ばい。</p>
製(商)品販売単価 D.I.	<p>○今期は▲11(上昇<下落)と、前期(▲18)より<u>やや改善</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、農水産業(前期▲29→今期▲29)、情報通信業(前期 0→今期 0)、宿泊・飲食業(前期▲31→今期▲33)を除く全ての業種で上昇・改善した。 <p>○来期は▲6(上昇<下落)と、<u>やや改善</u>する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、運輸業など 4 業種が改善する一方で、卸売・小売業、農水産業が下落、悪化し、不動産業、情報通信業が横ばいとなる見通し。
原材料仕入単価 D.I.	<p>○今期は 25(上昇>下落)と、前期(24)と横ばい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、運輸業(前期 17→今期 60)、情報通信業(前期 0→今期 33)、卸売・小売業(前期 7→今期 33)は大幅に上昇した一方で、不動産業(前期 50→今期 20)、宿泊・飲食業(前期 31→今期 13)、建設業(前期 39→今期 29)が下落した。 <p>○来期は 24(上昇>下落)と、横ばいとなる見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、農水産業など 3 業種が上昇する一方で、製造業など 4 業種が下落し、建設業は横ばいとなる見通し。
資金繰り D.I.	<p>○今期は▲23(楽<苦しい)と、前期(▲31)より<u>やや改善</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、卸売・小売業(前期 0→今期 0)、建設業(前期▲26→今期▲28)、運輸業(前期▲56→今期▲57)が横ばいとなったほかは、上昇・改善した。 <p>○来期は▲21(楽<苦しい)と、<u>横ばい</u>となる見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、運輸業(今期▲57→来期▲33)、宿泊・飲食業(今期▲56→来期▲43)が改善する一方で、情報通信業(今期 20→来期 0)、不動産業(今期 43→来期 29)が下落し、そのほかは横ばいとなる見通し。

概 況	
雇用人員 D.I.	<p>○今期は▲42(過剰<不足)と、前期(▲26)より悪化。</p> <p>➢業種別では、すべての業種で下落・悪化した。緊急事態宣言解除による経済活動の再開で、人手不足感が強まった。</p> <p>➢鹿屋公共職業安定所(鹿屋市、垂水市、肝属郡を管轄)の2020年9月の有効求人倍率の平均は1.19倍となっている。9月の有効求人数(パート含む)は3,311人、有効求職者数(パート含む)は2,772人となっている。</p> <p>○来期は▲43(過剰<不足)と、横ばいとなる見通し。</p> <p>➢業種別では、建設業など4業種が改善する一方で、製造業、運輸業が悪化し、不動産業、情報通信業は横ばいとなる見通し。</p>
損益 D.I.	<p>○今期は▲45(好転<悪化)と、前期(▲52)よりやや改善。</p> <p>➢業種別では、建設業(前期▲30→今期▲44)、運輸業(前期▲50→今期▲56)、卸売・小売業(前期▲50→今期▲50)を除く全ての業種で改善した。</p> <p>○来期は▲38(好転<悪化)と、やや改善する見通し。</p> <p>➢業種別では不動産業(今期0→来期▲29)が大幅に悪化する一方で、卸売・小売業(今期▲50→来期▲25)、宿泊・飲食業(今期▲88→来期▲64)が大幅に改善する見通し。</p>

【調査概要】

1 調査対象： 市内事業所 180 先

(農水産業 35 先、建設業 22 先、製造業 57 先、卸売・小売業 20 先
 不動産業 8 先、運輸業 11 先、宿泊・飲食業 19 先、情報通信業 8 先)

回答数：145 件 回答率：80.6%

2 調査時期： 2020 年 10 月

3 対象期間： 2020 年 7～9 月期実績(今期)、2020 年 10～12 月期見通し(来期)

4 調査方法： 郵送方式

5 集計方法： 回答数の構成比を求めた上で、「良い」の構成比から「悪い」の構成比を引いて「D.I.値」として指標化しました。

例えば、景況感の「良い」が10%、「悪い」が50%の場合、D.I.値は「▲40」となります。「D.I.」(Diffusion Index、ディフュージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。

6 質問項目： 業況、生産高、売上・完工高、在庫、販売単価、仕入単価、資金繰り、雇用人員、損益、今期損益の好転・悪化要因、自由意見

鹿屋市 市長公室政策推進課

〒893-8501 鹿児島県鹿屋市共栄町 20 番 1 号

T E L : 0994-43-2111 F A X : 0994-42-2001

m a i l : seisaku@city.kanoya.lg.jp

